

# 地域から共に未来を拓く児童を育てる社会科学習

～地域を見つめ、社会に向き合う学びをつくる授業～

【単元名】

安全な暮らしを守る・はたらく人とわたしたちの暮らし

宮崎県小林市立三松小学校  
佐藤 華芳

## 【はじめに】宮崎県小林市ってどんなところ？



小林市の南部にあり、児童数459名の学校です。

## にしもろ弁

宮崎県の西諸県地区  
(小林市・えびの市・高原町)の方言



## 地域から共に未来を拓く児童を育てる社会科学習

目指す児童像

小林市の地形や気候などこれまでに学習したことを生かして、マンゴーの生産方法や農家の思いについて知ることができる。

マンゴーの生産方法や農家の思いについて知り、地域に対して誇りや愛情をもち、更に小林市のことを知ることができる。

学習や生活の中で、社会に見られる課題をつかみ、知識と技能を活用して主体的に考え、表現しながら課題を解決し、よりよい社会を考え続ける子ども【宮崎県小社研】

## 研究構想図

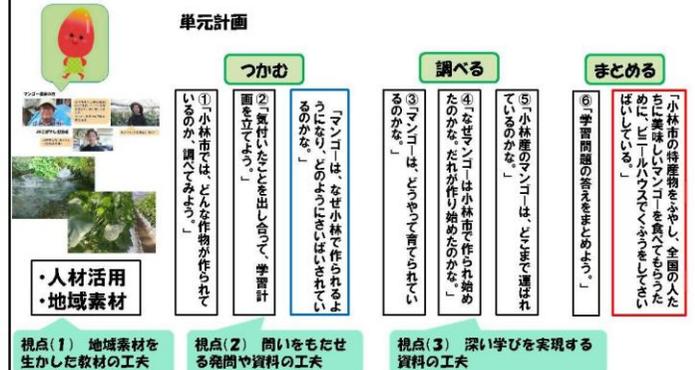
(研究主題) 地域から共に未来を拓く児童を育てる社会科学習  
～地域を見つめ、社会に向き合う学びをつくる授業～

- 視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫
- 視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫
- 視点(3) 深い学びを実現する資料の工夫

(研究仮説)

視点(1)(2)(3)の工夫をすれば、地域を見つめ、社会に向き合う学びをつくることができ、地域から共に未来を拓く児童を育てることができるであろう。

## 単元計画



## 教材研究の内容

- 単元名「はたらく人とわたしたちの暮らし」
- 本単元を選んだ理由

マンゴーの生産量(2018年)

1位	沖縄県	(52.4%)
2位	宮崎県	(33.7%)

(宮崎市、西都市、小林市)



3 私疑問

「なぜ、小林市でマンゴーの栽培が盛んになっているのかな？」

小林市の生産量(2022年)  
180トン

## 視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

### 人材活用

本研究にご協力いただいた地域の方

#### マンゴー農家の方



松田茂孝さん(野尻地区)  
約20年前、マンゴー栽培を初めて小林に取り入れた方  
マンゴー農家の約7割は野尻地区



坂下さん(三松地区)他3戸

#### JAこぼやし担当者

JA野尻支所 温水さん  
(営農経済課)



## 視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

### 人材活用

小林市のマンゴーについて調べたこと

・野尻町農場(現在は合併し小林市)の松田茂孝さんが中心になってマンゴー生産を取り入れた。



マンゴー農家 松田茂孝さん

・松田茂孝さんが年に10回以上沖縄県に研修に行った。

・先に栽培を始めている宮崎市にも研修に行って、小林の気候に合ったマンゴーを作る研究や努力をした。



・当時農家の人の生活を考えないといけなかったり、反対が多かったりして苦勞をされた。

・小林市の火山灰の土壌が結果的にマンゴーの赤みを出すのに役立った。

## 視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

人材活用

小林市のマンゴーについて調べたこと

・よりよいマンゴーを作るために農家さんと共に努力をしている

・小林市のマンゴーをまた食べたいと思ってもらいたい

・マンゴーを食べ、おいしいと思ってもらいたい

・手をかけた分、いいマンゴーができると嬉しい

・小林市のマンゴー農家の生活を支えたい

## 視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

地域素材

小林市のマンゴーについて調べたこと

- ① 小林市の気候があっていた (きりしまれっか)
- 小林市の水の活用(霧島裂罅水の冷たくてきれいな水)
- 霧島連山に降った雨が、シラス層や火山灰土壌を通りながら数十年の歳月をかけて自然とろ過され、地下深くに蓄えられた水。適度なミネラルを含む。
- 小林市の気候(日中は気温が高く、夜は気温が低くなる)



## 視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

地域素材

小林市のマンゴーについて調べたこと

- ② マンゴー作りに関わる人たちの思い (農家の方々)
- 農業の制限があり、メロンの二作ができなくなったため、別の作物を作る必要があった。
- 当時の宮崎県東国原知事が宮崎県の特産物としてマンゴーの生産に力をいれていた。(助成金の獲得)



単元計画

つかむ

調べる

まとめる

①「小林市ではどんな作物が作られているのか調べる。」

②「資料を調べ、何を調べたいのかを話し合う。」

③「マンゴーは、どうして作られているのかを調べる。」

④「なぜ、だれが作り始めたのかを調べる。」

⑤「小林市のマンゴーは、どうして作られているのかを調べる。」

⑥「学習問題の答えをまとめよう。」

視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫

視点(3) 深い学びを実現する資料の工夫

## 視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫

授業実践

【つかむ2/6】

「なぜ?」

小林市の気候 宮崎県の中では、標高が高く、特に冬は寒い

マンゴーが育つ条件 暖かいところで育つ 沖縄県が生産量第1位

マンゴーの生産量(2018年)  
1位 沖縄県(52.4%)  
2位 宮崎県(33.7%)  
(宮崎市、西都市、小林市)

なぜ、小林市の気候でマンゴーは育つのかな?

小林市はいつからマンゴーを作り始めたのかな?

## 視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫

授業実践

【単元の導入部分】

小林市のマンゴーの生産量



なぜ、約20年前はマンゴー生産がなかったのに、今はこんなに生産されているのかな?

どうして小林市で作られるようになったのかな?

## 視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫

授業実践

学習問題「マンゴーはなぜ小林市で作られるようになり、どのように作っているのだろう。」

「なぜ?」

友だちの意見をタブレットに写すことで、自分の意見と比較ができ、学びを深めることができる。

授業実践

調べる内容

- ①小林市で作られているわけ ②マンゴーの作り方  
③生産量が増えてきているわけ ④小林市で作り始めた人  
⑤どこからマンゴーを持ってきたのか  
⑥マンゴー作りに関わる人たちの思い



友だちの意見をタブレットに写すことで、自分の意見と比較ができ、学びを深めることができる。

単元計画

つかむ

調べる

まとめる

①「小林市ではどんな作物が作られているのか調べる。」

②「資料を調べ、何を調べたいのかを話し合う。」

③「マンゴーは、どうして作られているのかを調べる。」

④「なぜ、だれが作り始めたのかを調べる。」

⑤「小林市のマンゴーは、どうして作られているのかを調べる。」

⑥「学習問題の答えをまとめよう。」

視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫

視点(3) 深い学びを実現する資料の工夫

### 視点(3) 深い学びを実現する資料の工夫

#### 授業実践【調べる3/6】

「何に使う機械なのかな？」

ビニールハウスの気温をあげるボイラー

小林市は気温が低いから、ボイラーでビニールハウスの気温を上げているんだね。



インタビューしたことをもとに、資料を作成し、副読本にはない情報もあり、より児童の深い学びにつながった。

### 視点(3) 深い学びを実現する資料の工夫

#### 【調べる4/6】

#### 授業実践

教材研究したことをもとに学年で作成した資料

「マンゴーが小林市でつくられるようになったあけを知りたいな！」

「なぜ小林市でマンゴーが作られたのかな？」

教材研究の内容 資料の工夫

教材研究の内容 資料の工夫

教材研究の内容 資料の工夫

教材研究の内容 資料の工夫

教材研究の内容 資料の工夫

教材研究の内容 資料の工夫

#### 単元計画

#### つかむ

①「小林市では、どんな作物が作られているのか、調べてみよう。」  
②「資料のなかから、学習計画を立てよう。」

#### 調べる

③「マンゴーは、どうやって育てられているのかな？」  
④「なぜマンゴーは、なぜ小林で作られるようになったのか、調べてみよう。」  
⑤「小林産のマンゴーは、どうして運ばれているのかな？」

#### まとめる

⑥「学習問題の答えをまとめよう。」  
⑦「小林市の特産物をつやし、全国の人たちに美味しいマンゴーを食べってもらうために、ビニールハウスでくふうをしよう。」

・人材活用  
・地域素材

視点(1) 地域素材を生かした教材の工夫

視点(2) 問いをもたせる発問や資料の工夫

視点(3) 深い学びを実現する資料の工夫

#### 授業実践【まとめ】

#### 学習問題

「マンゴーはなぜ小林市で作られるようになり、どのように作っているのだろう。」



#### まとめ

小林市の特産物をつやし、全国の人たちに美味しいマンゴーを食べってもらうために、ビニールハウスでくふうをして栽培している。



#### 授業実践【まとめ】

#### 児童の反応

「小林市でマンゴーが作られることを誇りに思った。」  
「小林市でマンゴーを作ることができることを初めて知った。」  
「農家の方が工夫や努力をしてマンゴーを作っていることが分かった。」  
「ぼくたちの小林市の農家の人達はすごいなあ。」



農家さんの思いを児童なりに受け止め、地域への誇りや愛情を感じる姿が見られた。

#### 研究の成果

視点1 地域素材を生かした教材の工夫

○ 身近な地域素材を活かした教材の工夫をすることで、児童の興味関心が高まった。  
○ 授業での調べる学習を通して、地域への誇りや愛情がより高まっている姿が見られた。

視点2 問いをもたせる発問や資料の工夫

○ 資料から、「なぜ?」「どうして?」につながる発問を行うことにより、児童に社会事象の特色や相互の関連、意味を考える視点や方法を与えることができた。

視点3 深い学びを実現する資料の工夫

○ 指導者が、実際にその仕事に携わる方の思いを捉えることで、問いをもったり、興味をもったりし、調査した多くの情報を取捨選択しながら、児童の深い学びに繋がる資料作成を工夫することができた。

#### 今後の課題

視点1 地域素材を生かした教材の工夫

● 児童にとって身近なものを教材化することで、問題意識がより高くなるので、他の単元でもさらに地域素材を教材化していきたい。

視点2 問いをもたせる発問や資料の工夫

● 児童自らが、社会的事象の見方・考え方を働かせることができるように、多面的・多角的な視点から発問を工夫していく必要がある。

視点3 深い学びを実現する資料の工夫

● 今後も深い学びを実現できるように、教科書の情報や指導者が集めた情報を取捨選択しながら、目的に応じた資料を活用したり、作成したりする工夫をしていく必要がある。



ご清聴ありがとうございました。

